

理事会報告

★ Information

9月定例理事会

平成4年9月22日

西多摩医師会館

【1】 報告事項

(1) 都医地区医師会長協議会報告

(松原会長)

1. 都医からの伝達事項

★都医地区医師会長協議会報告等は都医ニュースにも掲載されています。併せてご参照下さい。

(1) 医療施設における院内感染の防止について

検出黄色ぶどう球菌中、MRSAの割合が急増傾向にあり、対策委員会の設置、清掃、手洗い、設備等、防止対策の充実を計られたし。

(2) 健康教育講演会の開催について

「エイズ患者の治療の実際」10月30日都医会館 駒込病院 山口 剛先生

(3) 平成4年度アトピー性疾患実態調査の実施について

厚生省、都衛生局より。八王子、立川、調布、小平、多摩市にて、9ヶ月検診時に保健所医師が行なう。治療、検査の要ある時は主治医との連絡を取ることを原則とする。

(4) 医師会員保健所出務時障害保険調査について

保健所協力事業出務時の被障害保証が現在無く、これを整備、推進するための基礎調査を行なう。

(5) 1992健康都市国際シンポジウムについて

10月19～20日 医科歯科大にて開催。

(6) 医療機能連携の推進について

厚生省、都衛生局より、二次医療圏を実施地域単位とし、下記を推進する。

- 1) 病診機能分化と紹介制度
- 2) 高額機器の共同利用
- 3) 教育、研修、情報伝達等の充実

(7) 老人保健福祉計画について

厚生省より、老健法及び老人福祉法に基づく老人保健福祉計画作成の推進依頼あり。別掲資料1(都における現在の各種計画です。ご参照下さい)

10月定例理事会

平成4年10月8日

西多摩医師会館

【1】 報告事項

- (1) 公衆衛生委員会報告 (大堀理事)
三混の個別化、基本健康診査の判定、指導基準の整備等について医療協で協議する。
- (2) 学術委員会報告 (大堀理事)
10月2日の学術部一般向け講演会は出席者60名で盛会に終わった。
- (3) 福祉部より (石田理事)
10月12日交通安全講習会を予定

【2】 報告承認事項

- (1) 青梅保健所で行う救急医療対策等に関する懇談会担当者について (1名)
推薦者 高木 直 (真鍋理事)
- (2) 学校医被表彰者推薦について
特別功労者 西村邦康 (平成4年文部大臣受賞)
功労者 道又正達
勤続30年以上 該当者なし
- (3) 福生保健所各種委員推薦について
(I) 福生保健所保健福祉サービス調整推進会議委員 (1名)
推薦者 玉木一弘 (再任)
- (II) 在宅難病患者訪問指導事業関係機関連絡会 (4名)
推薦者 松原貞一 (再任) 林 実 (再任)
道又正達 (再任) 大塚栄二 (再任)

【3】 協議事項

- (1) 胃癌検診事業について (大塚胃癌検診委員長)
西多摩地域胃癌検診事業について、これまで福生保健所が実施していた同事業を、平成5年度より多摩がん検診センターに代替え移行したい旨の東京都からの申し入れについて協議す。地域医療機関での一次検診実施を求める声も多く、今後の事業運営における医師会の役割りに不明確な点もあり、なお今後も協議の継続を要する。

【別掲資料1】

東京都における医療・保健・福祉に関する“計画”

*東京都保健医療計画

平成元年2月公示。医療法（昭和60年12月改正）による。
 現在見直し改定の作業中 東京都保健医療計画推進協議会（改定部会）
 平成5年12月末に公示予定

*地域保健医療計画

二次医療圏ごとの医療計画。医療法による。平成5年末までに作成。
 東京都の対応…原則として二次医療圏（23区は区単位）。
 地域保健医療協議会を設置。
 但し、すでに区市町村で単独に作成済みのところがある。
 〔例〕世田谷区保健医療計画、町田市保健医療計画

*東京都地域福祉推進計画

平成3年1月発表。東京都が単独で作成したもの。
 *地域福祉計画…上記の東京都地域福祉推進計画の中で策定を指示。
 42区市町村で取組み中。調査だけしたところもある。
 （例）〇〇地域福祉計画策定委員会、〇〇地域福祉計画検討委員会
 6ヶ所位で完成している。

老人保健計画（老人保健法に基づく）

（平成2年6月改正） 老人保健福祉計画 平成5年4月から施行

老人福祉計画（老人福祉法に基づく）

*老人保健福祉計画

区市町村老人保健福祉計画…区市町村単位で個々に作成する。
 計画作成委員会…学識経験者、地元医師会、他。
 都道府県老人保健福祉計画…区市町村老人保健福祉計画を積み上げて作る。
 老人保健福祉圏域の設定…二次医療圏との整合性の問題。
 老人福祉施設、老人保健施設の目標量等を定める。

〔参 考〕

*第一次東京都長期計画	昭和57年12月策定	
*第二次東京都長期計画	昭和61年11月策定	
*第三次東京都長期計画	平成2年11月策定	計画期間 平成3年～12年度
*東京都総合実施計画	平成3年11月発表	計画期間 平成3年～5年度
*東京都障害者福祉行動計画	平成4年3月発表	

会員通知

- 在宅訪問リハビリテーション講習会の開催について
- 「東京都がん検診センター主催」平成4年度講義課程研修の実施について
- 平成3年度中の救急患者による損失医療費の取りまとめ及び申請について
- 学術講演会
- 秋の交通安全運転者講習会
- 麻薬関連薬物の盗難について
- 日本たばこ産業共済組合員証の更新等について
- 第27回准看護婦卒後教育講習会の開催について
- 殺人未遂事件犯人の捜査協力依頼
- 平成4年度在宅難病患者緊急一時入院事業の増床について
- 特殊疾病（難病）患者診断手引（追録）
 〃 〃 治療及び生活指導の手引
- 医療保険の手引
- 会員名簿正誤表

医師会の動き

医療機関数	176	病院	28
		診療所	148
会員数	348	A会員	169
		B会員	179

会議

10月6日	公立病院長との懇談会
8日	理事会
14日	医療協
19日	会報委員会
20日	理事会
21日	地区長会
26日	西多摩医師会今後のあり方委員会

講演会・その他

10月2日	学術講演会 演題：アルコールと健康 講師：国立療養所久里浜病院 副院長 高木敏先生
8日	整備会
12日	秋季交通安全運転者講習会
14日	法律相談
17日	青梅市医師会役員会

19日	秋川市医師会月例会
22日	学術講演会 ①演題：外来で診る肩疾患について 講師：阿伎留病院整形外科 丸山 公先生 ②演題：シェーグレン症候群の 基礎と臨床 講師：青梅市立総合病院内科 立石睦人先生 ③演題：内視鏡よりみた大腸ポ リープの検討 講師：福生病院外科 藤田直也先生
22日	生保指導
29日	在宅難病患者訪問診療（青梅）

役員出張

10月3日	関東甲信越ブロック医師会協議会
16日	都医会長会
〃	三多摩ブロック地区会長会
17日	玉川医師会40周年記念式典
22日	都医産業医担当理事連絡会

けば、ずっと寝てても良い事になっている。

公演予定の会場につくと楽団員が全員集合して当日のリハーサルが始まる。実は、小生の、このあまい考えは、ほぼ現実のものとなってしまった。リハーサル会場の客席は、人っこ一人居ない、まさにうたた寝には最高の場所だった。腰を柔らかく包んでくれる椅子に深々と腰掛けて、流れてくるクラシック演奏を一人で聴きながらうたた寝する。元々どこでも何時でも睡眠がとれる小生だが、実に心地よいものであった。ただリハーサルが終わってから楽団員に“最初から最後までよく寝ていましたね”、としばしば冷やかされる事があった。

今回のツアーで演奏するのは、楽団員がドボハチと呼称するドボルザークの8番。そういえば団員達はどんな時にもいわゆる業界用語というやつを使って会話する事が多かった。例えば、買い物に行ってその商品が日本円で¥51,000したとすると“これ、ゲー万ツェー千円もするよ”といった具合である。

ところで、いくらクラシック音楽にたいして無知でもほとんど2日と明けずに聴かされていれば曲も少しは覚えようと言うもので、最初ちんぷんかんぷんだったのが、フィンランドからドイツへ移動する頃には、次の旋律が何となく口をついて出てくるようになった。

ドイツでは、デュッセルドルフのライン川のほとりに会場があり、合間には団員と一緒に食事に行ったり楽しい時間を過ごす事ができた。しかしここでちょっと問題が起こった。

それまでも、夜間咳が出て止まらなると訴えていたファゴット奏者のI氏が、日中でも咳が止まらず発熱も認められるようになってきたのである。このI氏の咳は、執拗で、一日の公演が終わり、みんな疲れはてて会話も少ないバスのなかで、コンコンとよく目立った。

I氏の咳がなかなか改善しないのも、小生の医師としての経験不足が原因で、それを考えるとコンコンと、小生の耳には人一倍大きく聞こえるのだった。しかしI氏は、こうなったのも自分の不注意が原因と、小生を逆に慰めてくれた。

しかも、ここで小生は、I氏からプロ奏者の偉大さを目の当たりにする事になる。

それまで、頑固な咳で苦しんでいたI氏がファゴットを首から掛け、いざ、リハーサルから本番となると、うそのように咳がびたっと治まるのである。緊張感がそうさせるのか、プロ根性が咳を止めるのかは、定かでないが、とにかくウソの様に止まるのである、というか、止めてしまうのである。これにはさすがに頭が下がる思いがした。

この他にも、フランスでは、同行者が転倒、骨折をおこし深夜2時頃事務局長と霧のパリの街を救急病院まで行ったり、イタリアでは小生の誕生日にオーケストラ全員でHappy birthdayを演奏してくれたり、いつも移動の飛行機は、指揮者の尾高氏とともにファーストクラスで良い思いをした事など今思い起こしても生涯忘れ得ぬ、それはそれは苦しくも楽しいヨーロッパ旅行であった。

雑記

終戦から新制医師会誕生への過程（其の五）

山田正哉

終戦後1ヵ年を過ぎると日本は完全に連合軍の支配下に入り、政治、経済その他の社会機構は、戦争中の国家統一体制から脱皮させられ、民主的運営の方向へと指導は正されて来た。

日本医師会も任意加入が軍国主義的風潮の高まる中で昭和17年強制加入の特別法人に衣がえした。それに追従して各都道府県医師会も同様のスタイルを取り、日医を総本山とする支部形態を造り「戦争を勝ち抜くために」

のスローガンのもとに各個人の自由意志は排撃し団結して国策遂行に向って邁進した。

聯合軍中のアメリカ軍の進駐により、この強制加入の医師会体制に鋭いメスが加えられた。

日医は昭和21年9月18日役員会を開催し、「医師会改組に関する委員会」を設置し全国から委員を選出して慎重に検討を加えることとした。

昭和21年5月「関西医師連盟」が結成されて医師会民主化の運動が開始され、また東京以北では福島県医師会長志賀氏を中心として、群馬黒沢氏、千葉花岡氏、東京中山氏の各会長が委員となって医師連盟の設立を準備し、昭和21年10月25日福島市公会堂で「関東北医師連盟」の結成式をあげて、医師会改組問題を中心にして活発な論議を戦かわした。

日医の改組問題委員会で検討した結果今後医師会は強制加入から任意加入、任意設立の方向に移行すべきとする基本方針が打ち出されて、民主化新医師会設立の方向に推移して来た。

東京都医師会も「東京都医師会民主化委員会」の設立運動が起り、同時に都医傘下の各医師会にも夫々民主化新医師会設立の機運が高まって来た。当医師会綴の中に次の様な文書を見る。

決 議

速かに現医師会を解散して直ちに民主的な新医師会を再建すべきである。

右決議する。

昭和21年11月1日

東京都医師会蒲田支部

附帯決議

第一：新医師会の再建には全医師自ら之に当り建設特別委員は最も民主的な方法で選定すべきである。

第二：建設特別委員は単に会則原案を作成するに止り会則各條項の採否は文書を以て全医師の意見を徴し多数決で決定すべきである。

以 上

また目黒医師会からは、

(1字不明)秋の候愈々御健勝で益々斯道の為御活動の段慶賀申し上げます。

偕而吾が日本医師会も民主々義的に改組せられねばならぬ事は吾が国がポツダム宣言を受諾して以来決定的なことです。各会員の自覚により旧来の風(1字不明)脱皮して真に自由的に民主々義を基調とした強力な医師会を作り度いと云ふ念願から当日黒区支部では先頃別紙の様な決議を致しました。

貴会内に於ても着々同様の運動が行はれつつあることと思いますが、医会民主化の為相携へて共に進みたいと思ひます。

昭和21年10月18日

東京都医師会目黒区支部長

百 東 昌 言

外実行委員一同

西多摩郡支部長

山 田 正 禮 殿

外会員御一同様

決 議

現日本医師会を速かに解散し真に民主々義を基調とする自由的医師団体を結成すべし。

東京都医師会目黒区支部

ポツダム宣言受諾以来既に1年有余を経たる今日尚吾が日本医師会は之に對し何等の熱意を示さず官制医師会の域を脱しないのは吾人の甚だ遺憾とするところである。

此処に於て東京都医師会目黒支部はその総意を以て前記の「現日本医師会を速に解散し真に民主主義を基調とする自主的医師団体を結成すべし」と云う案を提案する次第である。

日本医師会の現状を見るに

一、医療制度、特に医療団に関する件

二、医学教育に関する件

三、公衆衛生に関する諸問題

四、医薬品食糧に関する問題

五、社会保険に関する問題

其他諸問題に就て発言権及び自衛権を保持しなかつた為に積極的な活動が見られなかつた。

茲に於て将来の医師会は真に民主々義を基調とし立法及び行政面にも医人の総意を反映せしむる自由的協力なる団体の確立を期する

ものである。

彼様に東京都医師会傘下で民主化新医師会運動が開始された頃東京都医師会でも「東京都医師会民主化委員会」の設置準備運動が起こり昭和21年11月5日の支部長会で即時解散論が提唱されたが結論に達せず1週間後の12日の支部長会で再び討議され、結局各支部から医師会民主化委員を50人について1名選出して11月25日まで報告することになった。

西医発第87号

昭和21年11月13日

東京都医師会西多摩郡支部長
東京都医師会長殿

新医師会設立委員選定に基く現在会員数報告について
標記の件当支部に於ては左記の通り御報告いたします。

記

西多摩郡支部全会員数 74名
11月1日現在

西多摩郡医師会は昭和21年11月25日総会を開催して「民主化新医師会委員」を選出した。

西医発第93号

昭和21年11月25日

東京都医師会西多摩郡支部長
東京都医師会長殿

民主化新医師会委員報告について

標記について当支部に於ては総会の結果左記の通り決定いたしましたから御報告いたします。

記

委員 西多摩支部 山田正禮
" " 坂本富雄

各地区から選出された民主化委員は「東京都医師会15年史」によると、144名で、昭和

21年12月6日第1回委員会を開催し、委員長選出、審議々案に関して議論百出し、具体的審議は次回として同月24日に第2回民主化委員会が開催され、

第1分科会：日本医師会に関する事項

第2分科会：都道府県医師会に関する事項

第3分科会：郡市区医師会に関する事項

第4分科会：医育機関ならびに学会との連絡に関する事項

第5分科会：医事法令に関する事項

第6分科会：社会保険に関する事項

が決定され各分科に於て都医再建方策が審議された。

新民主化医師会検討中の頃本医師会綴の中に、都医師会に対して抗議した文章が見られる。

西医発第83号

昭和21年11月5日

東京都医師会西多摩郡支部長
東京都医師会長殿

集団中毒発生に関する件

10月30日民生局よりとの標記に対する電話に接し当五日市地区に於ける配給牛罐中毒に最寄医師を動員せしめてその手配をせらるべき旨ありたるに依り即刻現場五日市に趣きたるに何んらその確たるものつかめず引揚げたる様な状態にしてその意を得ず本日に到り僅かに左記医師の手元に患者が見へたるのみの報告ありたるに依り参考迄に御報告致します。

今川医師 5名、栗原医師 2名、
小泉医師 2名、坂本医師 1名

西医発第82号

昭和21年11月5日

東京都医師会西多摩郡支部長
東京都医師会長殿

BCGに関する講習会開催について

標記について去る10月20日東京都教育課より地方事務所教育課へ各国民学校々医に対して10月26日都立第6中学校に於て開催するB

CGに関する講習会へ出席せらるべき通知あり多忙なる折なるも26日上京出席し処学校当局に於ては何んらその様な行事はなき旨只尊い1日をかかると遠方より引出したるに過ぎず今後斯かる如き行事ある時は折角の会合にも会員の出席に非常な支障を来すものと思考せられますので特に此の際東京都庁関係者へ連絡方お願い致します。

東京都医師会長殿

2月末現在会員の報告について

標記について当支部管内に於ては別紙の通りに御報告致します。(別掲参照、会報第235号と比較参照のこと)

今後も本医師会は厳然たる態度が取れるだけの器量を備へて欲しい。

前述した如く東京都医師会の都医民主化委員会は6分科会で都医再建の方策を種々検討審議した結果昭和22年6月19日に定款起草の段階まで到達し一応民主化委員会の責務は終了したとの結論となり解散して、バトンを都医設立委員会に移した。都医設立委員会では、委員選出法が論議された後正副委員長を選出して都医の定款等の制定に向って活動を開始した。8月11日第1回都医設立委員会が開催され、本医師会からは故石森賢一先生と坂本保先生が委員として出席している。

東京都医師会では、新医師会の改組が検討される頃に会員数の調査があった。

西多摩郡医師会でも新生医師会設立に関して審議が進められていて、当時はブロック制がなく隣組の班組織であったので、次の如き新医師会設立委員が覚書の形で亡き父の字で6月24日決定と記載されている。

東医発第 270号

昭和22年3月3日

東京都医師会長 中山寿彦

支部長殿

2月末現在会員の報告に関する件

本年2月末日現在を以て左記様式に依り貴支部会員名簿御調製の出来る3月15日近に御提出相成度此段御依頼申上候

五日市地区	正	坂本 富雄
		内野倉 徹
上 班	正	福田 実
		田中 信雄
中 班	正	大河原由蔵
		石森 賢一
下 班	正	山田 正禮
		横田 寿照

追而本名簿は向後1ヶ年間の基礎資料となるべきものに付御留意の上遺漏なきを期せられ度

記

註一：記名順序は町村の行政順とし全一町村内のものは丁目番地順とすること(イロハ順、会員種別順等に依らざること)

西医発第54号

昭和22年7月16日

東京都医師会西多摩郡支部長

坂本富雄殿

外9名

西多摩郡新医師会設立委員会並に役員会開催に就いて

二：保険医は氏名の上部に(保)と記入すること

三：勤務医師の場合は病院診療所名を省略せざること

四：復員者又は引揚者にして新規に開業又は奉職せるものは「終戦後転入者前住所」欄に「復員」又は「引揚」と記入すること

西医発第20号

昭和22年3月8日

東京都医師会西多摩郡支部長

来る7月21日午後2時より左記事項に就いて事務所に於て標記設立委員会並に役員会開

催致す事になりましたから万障御繰合せ御出席願います

記

- 一、薬価料金に就いて
- 一、新医師会結成に就いて
- 一、その他

綴の中にこの通牒の外に父の字で次の事項が記載されているが、この通牒は何処にも見当らないので或るは前記通牒の下書きなのかも知れない。

議題

- 一、社団法人西多摩郡医師会定款設定に就いて
- 二、新医師会役員選出に就いて
- 三、東京都新医師会設立委員選挙に就いて
- 四、新薬価規定決定協議会に就いて
- 五、その他

発信番号の記載がないが次の如き通牒がある。

8月9日午後2時第2回臨時総会に於て社団法人西多摩郡新医師会の発足によりまして都準則及定款を別封御送付いたしましたから希望者は振って入会下さい。別段これに対して御通知ないものは入会いたしたものとみなしますから左様御承知置き下さい。尚当日左記の料金表を協議致し決定を見ましたので8月15日より実施致します。

二伸、薬事日報別封いたしました之れは折返し支部宛金15円也御届願います。

西多摩郡医師会診療報酬規定

初診料	20.0
往診料	30.0
再診料	適宜
内服薬 一剤	10.0
頓服薬 一剤	5.0以上
外用薬 一剤	10.0
皮下注射料	25.0

静脈注射料	40.0
注射薬品を持参せる場合	
皮下注射	20.0
静脈注射	30.0
サルバル酸1号	60.0
1号をます毎に	10.0
リングル又はロックG液	250.0
チフテリア血清3号	200.0
検査料(尿・便)	10.0
血沈	20.0
浣腸料	20.0
診断書 死亡	30.0
普通	30.0
処置料	10.0

健康保険一点単価を10として

8月15日より実施

昭和22年8月26日

社団法人東京都医師会
設立委員長 黒沢潤三

都医医師会設立委員長殿

代議員選出に関する件

社団法人東京都医師会代議員を昭和22年8月29日現在会員百名又はその端数ごとに老名の割合により貴会から御選出の出来る8月30日午前9時必着をもって、その氏名を御報告下されたく御依頼申し上げます。(報告は電話又は口頭で差支ありません)

尚右の選挙人名簿(会員名簿)及び当選者の正式報告書は、9月10日までに御提出下さい。

次に右の選挙によって当選せられました代議員の方々に、同封の代議員会招集通知書を、御手交下さるよう御願い致します。

(招集通知書は、概数を封入して置きましたから御諒承願います)

昭和22年8月26日

社団法人東京都医師会
設立委員長 黒沢潤三

代議員殿

社団法人東京都医師会設立代議員会開催
に関する件

東京都知事 安井誠一郎殿

昭和22年8月30日(土曜)午後2時、東京都千代田区神田駿河台2丁目5番地日本医師会館で、社団法人東京都医師会設立代議員会を開催いたしますから御出席下されたく御通知申し上げます。

西多摩郡医師会から、代議員として故横田寿照先生が選出された。

西多摩郡医師会に於ても新生医師会設立の準備が出来上り、社団法人認可に向けて動き出した。

西医発第65号

昭和22年9月15日

東京都西多摩郡青梅町勝沼197

東京都西多摩医師会会長

山田正禮 (印)

東京都知事 安井誠一郎殿

社団法人西多摩医師会設立許可申請書

今般民法第34條により社団法人西多摩医師会を設立いたしたいと存じますから御許可下されたく別紙関係書類添附の上申請致します。

昭和22年度社団法人西多摩医師会収支予算書と設立者及び役員就任承諾書を添附している。その承諾書は、東京都医師会定款に賛成し、その設立者及び役員たることを承諾する。

石森賢一、坂本保、山田正禮、横田寿照、三枝欣二郎、坂本富雄、小泉新策、福田実、川内英雄、田中信雄、高水武夫、内野倉徹の先生方の住所、捺印がある。

第1回申請で書類不備があったのか次の様な写しがある。

西医発第71号

昭和22年10月 日

東京都西多摩郡福生町福生636

山田正禮

社団法人西多摩郡医師会設立許可申請書

今般民法第34條により社団法人西多摩医師会を設立いたしたいと存じますから御許可下されたく別紙関係書類添附の上申請致します。

西多摩郡医師会定款、昭和22年度社団法人西多摩医師会収支予算書、設立者及び役員就任承諾書(山田正禮、横田寿照、石森賢一、坂本保、三枝欣二郎、坂本富雄、小泉新策、福田実、田中信雄、高水武夫、川内英雄、内野倉徹)

設立についての趣意書

今般医療法改革に伴ひ旧東京都医師会西多摩支部を改組せしめ医療法による新医師会を設立せんとする。

設立当初加入会員数 70名

財産目録 なし

設立総会決議録謄本

開催日時 昭和22年 年 日

開催場所 東京都西多摩郡青梅町勝沼197

出席者数 46名

議長 石森賢一

決議事項

第一号議案 社団法人西多摩郡医師会を設立するの件に付き議長から賛否を求めたところ満場一致設立に賛成し確定

第二号議案 社団法人西多摩郡医師会定款に付き議長から賛否を求めたところ全員賛成を以て可決確定

第三号議案 昭和22年度事業計画

第四号議案 昭和22年度歳入歳出予算案

右は西多摩郡医師会の設立総会決議録謄本であることを証明いたします。

昭和22年 月 日

設立代表者 山田正禮 (印)

総会議長 石森賢一 (印)

設立代表者の権限証明書

西多摩郡医師会設立者 名中 名を以て設立代表者は指定法律行為の代表者としての権限を委任したことを証明する

昭和22年 月 日

西多摩郡医師会設立者

同

同

設立者及び役員就任承諾書には、理事又は監事を明記し全時に履歴書を添附した。

GHQから新生医師会の運営に当っては、今迄の医師会運営、持続に関係した医師会幹部の総退陣が昭和21年8月29日に発せられ且つ医師会、歯科医師会及び日本医療団等の解散に関する国民医療法中の一部改正案が10月11日参議院を通過、衆院では同月25日に可決、31日に公布され、遂に11月1日より実施となった関係で、西多摩郡医師会では昭和22年11月28日新に社団法人西多摩郡医師会が許可設立された。

昭和22年12月12日総会を開催し、新医師会の定款を決定し、従来の班長制を廃して理事、監事制に改定して役員選挙を施行した。新執行部として初代会長横田寿照、副会長坂本富雄、理事に福田実、川内英雄、石森賢一、三枝欣二郎、高水武夫、坂本保、小泉新策、監事江藤貢、天田謹四郎、都医師会代議員横田寿照を選出した。本会事務所を東京都青梅保健所内から青梅町勝沼二百番地三枝欣二郎方に移した。

ここに新生西多摩郡医師会が誕生して現在に至っているが、これ以後の記録は昭和26年1月4日の三枝医院の失火で無くなり、私が医師会総務に係った頃将来の医師会記録作成に必要な書類は出来るだけ保管して来た故今日まで記載出来た。悲しいことに私が医師会を離れた十数年間に保管して来た書類は、執行部もまた総務や事務関係者が法人書類保管規定(10年間保存)によるのか取捨選択することなく戦後の書類を殆んど整理消滅した為めに、百年にならんとする由緒ある医師会の歴史を今後60年誌以後の年譜を作成するのに支障が出来て本会の歴史を詳細に記録することは不可能となった。

然し現在の医師会活動の基盤となった事項に就いては、時間の許す限り調査して私は記載して行く積りである。

保険医	氏名	住所	電話	科名
○ ●	大幡 良一	青梅町勝沼 49	1140	眼科
	長尾 貞一	青梅町勝沼197 保健所	370	内科
○	三枝欣二郎	青梅町勝沼 200	202	耳鼻科
	田中 浩哉	青梅町西分 63	30	外科
○	笹本 謙広	青梅町青梅 58	78	小児科
○ ●	池原 利定	同上 66	110	外科
○ ●	石森 賢一	同上 134	134	内科
○	天田謹四郎	241	43	内科
○	大河原由蔵	252	47	内科
●	大河原 周	同上	47	内科
●	興芝 真雄	同上 495		内科
○	近藤 三郎	1286	57	眼科
	近藤 肇	同上		内科
○	野口 幸子	五日市町 71	15	眼科
○	栗原 正吾	115		外科
○	今川定次郎	824	69	小児科
	小泉 新策	小和田 180		外科
	森下 健子	東町 245		内科

○ 保険医 ● 役員者

保険医	氏名	住所	電話	科名
○	栗原 秀子	瑞穂町箱根崎 61	瑞穂6	眼科
○ ●	高水 武夫	同上 282	26	内科
	水島 義寛	石加 207		眼科
●	内野 正作	同上 1680		内科
○	江藤 貢	福生町隈川 63	115	内科
	吉村 利雄	同上 33		内科
○	山田 正礼	福生 636	10	内科
	池田 晴彦	同上 1016	113	内科
	三輪 篤信	福生町福生1378 眼科	47	内科
	山本松五郎	同上	47	内科
	石川 孝明	同上	47	外科
	黒崎 良三	同上	47	眼科
○	横田 寿照	福生町福生 1678	15	内科
○	川内 秀雄	水川町 162	水川46	内科
	川辺 晃	同上 174		外科
●	佐藤 喜彦	166	44	内科
○ ●	柳内 孟	西多摩村羽 190	11	外科
○	加藤 シゲ	同上 569		眼科
	坂本 保	同上 1230		内科

保険医	氏名	住所	電話	科名
	渋谷 勇雄	西多摩村羽 1798		内科
●	平野 孝治	東秋留村開岡 697		内科
	羽生 量一	小川		内科
○	河瀬 純三	西秋留村引田 13	1125	内科
	海老沢 謙	同上		内科
	馬渡 清彦	淵上 291		小児科
	川原 寿郎	同上 249		内科
	荒川 二郎	油平 211		内科
	内野倉 徹	多西村瀬戸岡 488		内科
●	三沢 剛文	桑山		内科
○	菊池 信	平井村 3300	平井6	内科
○	森田 司	同上 3445		内科
	北川 安信	増戸村伊那 1041		内科
○	坂本 富雄	同上 1508		内科
○	並木 重俊	大淵1675	1178	内科
	筒井 義次	同上		外科
	栗原 憲一	小宮村乙津 1978		内科
○	明石 昇	戸倉村 201		内科
	名島 則貞	松原村 1340		内科

保険医	氏名	住所	電話	科名
○	百瀬 真澄	霞村 藤橋 10		内科
○	近藤 廉平	師岡		外科
●	栗原 宏至	成木村成木		内科
○	西沢 富美	調布村長瀬		小児科
	大原 芳雄	吉野村		内科
	金子彦三郎	下 852		内科
○	鈴木隆之助	下 1227		内科
○	中村重四郎	抽木		外科
	田中 信雄	抽木 440		内科
○	香西 盛長	三田村二俣尾診療所		内科
	荒井 静	同上		内科
●	山口 鮮	三田村二俣村 190		内科
●	山中善五郎	同上 1483		内科
○	福田 実	三田村沢井上分 181	沢井13	内科
○	三井 弘次	古里村川井 276		内科
●	三井 亀雄	同上		内科
	佐久間近三	小丹波 422		内科
○	野村 喜祐	小河内村川野 169	119	内科
	石川 勝治	原 565		内科

靈魂とは何かについて (VIII)

— あなたは、どう死を迎えるか —

近 藤 肇

第八章 超越論と靈魂

8-1 超越論的概念

これまで、人間の『生』について語り、そして、科学の知り得た仮の知識を基に、心を論じ、一応、脳と別に心の実在することを主張する根拠を示したつもりである。

だが、靈魂について、それが実在しているのか否かの問いは、超心理学的、超自然・超科学的、超越論的な問題である。

私は、科学文明社会に生きる現在の人間の思考の範囲で考えることにする。

宇宙の歴史は、現在の宇宙が誕生して以来の歴史ではなく、それ以前にも、宇宙があっ

たであろう。宇宙の始めは何か。無から宇宙ができたのであろうか。だが、無からは何も生じない。何かがあって有を生じた。何かとは何か。何かの前、その前、またその前は何か。

宇宙・自然を生んだ「何か」は、非人格的な超越的な『神』である。

現代の理論物理学の言葉を借りると、宇宙の創造に当たって、神には『神の方程式』があったとする。これはすなわち、『神の摂理』である。

『真』を知るということは、その方程式や摂理を知ることである。現代の理論物理学により論理を進めてゆくと、物質が精神をつく

るのではなく、精神が物質をつくるという結論とならざるを得なくなり、宗教的な問いとなるという。

神及び靈魂は、純粹な形而上学的な思弁による存在なのであり、また、それは人間性自身の中にある概念でもあるとしなければならぬ。

人間には、理屈ぬきの人間性の『生』がある。理屈ぬきの心、情念があり、そこに靈魂の問題が生ずる。

8-2 理屈ぬきの人間性

「理屈ぬきの人間性」の歴史には、いつも、素朴な観念としての信仰がある。物質文明社会に毒された社会にも、人間の奥底には、情念としての宗教心があり、人間は弱き存在なるが故に、その社会に神仏や靈魂と係る生活文化があった。

物質主義者がどう考えようが、宗教には人間の現世の、個々の人々に安穩と精神的よりどころを与えるものがあつたし、現在もそうであろう。

アニミズム、シャーマニズムの信仰的行事にしても、伝統的な祭礼や習俗にしても、それは人間性に基づいている。

恐山の靈山信仰の「イタコの口よせ」と称する靈を呼ぶお祭り行事は有名である。巫女であるイタコに靈が憑依し、そのお告げを受けて、感激の涙を流し、山の靈氣を感じて、尊厳な世界を味わい、心を浄化する境地に人々を誘う事は、非文明的、後進的とされるべきではなく、そこに人間性の『情』、『生きがい』があるのであり、文明社会の理屈ぬきの、人間それぞれの世界がある。

文化人類学、また、民俗学は、民族や社会の信仰生活の有様などを教えてくれているが、多くの人々は、過去の非科学的な遺物と考える。だが、その信仰は現在の文明社会の中で、別の観点から見ると評価に値するものがあると思う。

インドネシアの人口 200万あまりのバリ島は、イスラムに追われたジャワ島の王侯、貴族、僧侶たちが築いたヒンズー教社会で、仏教や土着のアニミズムと結合したヒンズー・

バリ文化を形成しているといわれている。典型的な水田農耕社会で、農業用水の水利権争いが絶えなかったが、独特の水利制御が行われていて、平和社会を保っているが、それには、信仰による農民共同体的なお祭りが盛んで、神への信仰による各部落の熱狂的な共同作業のお祭り、信徒集団たる部落民相互のコントロールによって地域社会の平和が保たれていて、平和で犯罪も少ない。

日本でも、愛媛県の宮脇村が、部落間農民の昔からの「部落水利権の争い」を解消して平和を維持し得ているが、そのメカニズムは、協同社会を造ることによって水利の調節を行い、と同時に、神社信仰の「お祭り」を全部落の真剣な協同作業で行っていることにある。なお、このお祭りを、工業化によって生まれた村の新住民にも参加させて、地元民との対立解消にも役立たせている。

信仰、神、靈魂、あの世など、理屈でも、論理でも、文明でもなく、理屈ぬきの人間の文化がある。

人間は精神的なものであり、信仰の有無、靈魂があるかないかの論議以前に、人間には人間性があるので、このことを前提とした上で論じなければならない。

8-3 超常現象としてのサイ (Psi)

恐山のイタコの「口よせ」という靈の憑依は、超心理学的、超常的、靈的、超自然的たる「サイ現象」のひとつである。盲目の巫女であるイタコは、選ばれて幼時より訓練を受け、自分に靈が憑依し、靈との交信をなす。

サイ現象については、(3-2)の項にて述べた如くヨーロッパ、アメリカで古くから研究されていて研究発表も多い。TVの番組で時々サイのような現象が放映される。真面目に取り上げているものもあるが、興味本位のものも多い。最近、「世界の驚異！」というようなタイトルで超常的現象、靈的現象、神靈治療が紹介されたが、取材班がその場ではビックリしたが、帰国後ビデオで念入りに検討したらトリックでありマジックであつたし、また、神靈治療の手術で出た血液を持ち帰って検査した結果、それは人間の血ではなかつた。

た。

サイ現象は、それが、トリックでもインチキでもなく、また、物理的に説明でき得る偶発的現象でもないことが確認されなくてはならない。

サイ現象を、人間の死後の世界や霊と関係づける場合、それを客観的に事実関係を分析し、科学的な検討が必要である。

虫の知らせというのもサイである。

アメリカの話であるが、妻が、どうもひどく胸騒ぎがするので、夫の工場に三回電話をかけたが返事がなかったので、夜中の2時に工場にいったら、夫が倉庫の冷凍室に閉じ込められているのを発見したというのがある。これは〔テレパシー〕(Telepathy)による虫の知らせである。

〔予知〕(Precognition)する虫の知らせがある。

1949年11月1日、ボストンからワシントンに向かうイースタン航空の旅客機DC-4が、ポトマック川に墜落、全員が死亡した事故があったが、10月30日、妻は、夫が、若しその飛行機に乗れば、死んでしまうのではないかと考えてならなかったので、翌日の10月31日夜9時ころ、夫に電話して、ワシントン行きの飛行機には乗らないでほしいと頼んだ。夫は、その飛行機に乗るべく予約をしていたが、出発間際になってワシントンに行く必要がなくなりキャンセルをしたために、イースタン航空の事故に遭わずに済んだという。

〔透視〕(Clairvoyance)は、事物について、同時的な情報が得られるのであって、離れた処の事を知る能力である。

テレビで、宜保愛子が東京にいて、ロンドンのユリ・ゲラーと電話して、ユリ・ゲラーの現在の服装やその色を当てることができたのを見せた。

〔ポルターガイスト〕(Poltergeist)という現象があり、霊との関係が問題とされる場合がある。特定の人間を中心にして、普通には説明のつかないことが起こる。観察される現象としては、物の浮上とか、ジグザグ運動、空中での舞いなどの物体の移動、物音、閃光などである。また、原因もないのに時計

が止まったり、壁に掛けてあった絵が落ちたり、コップが割れたり、ノックする音が聞こえたりする。こうした場合肉親や友人の危機的状況や死と時間的に近接して起こる事が多い。

〔念力〕(Psychokinesis 略PK)はスプーン曲げ、物体移動、遠方や別室にいて見えないものを当てる〔遠隔視〕(remote viewing)などの超能力で、嚴重に監視された状況で、その能力の事実は確認されている。

〔自動書記〕という現象は、特殊な精神状態になったとき、無意識の中で、ペンや筆が動いて文字や文章が書かれる状態をいうが、この人間は夢遊状態でありトランス状態となっている。新興宗教では『お筆先』といっている現象であり、神のお告げがあったとされる。

8-4 死後生存の証拠性

霊的経験をした人の中から教祖が生まれ、霊界を語り、また、呪術や占いや神霊治療をしている人は多い。最近では、霊能力者として、宜保愛子、丹波哲郎らがマスメディアを賑わしているが、その他新々宗教を含めて、その霊・霊界の話は、客観的にみて霊との交信があるのか、サイなのか、単なるヒステリー的な幻想なのかなどが問われなくてはならない。霊能力者とされる人は、独自の宗教的な霊の世界の理論を構成している。宜保愛子、丹波哲郎らにしても、臨死体験や何らかの霊的体験、サイの能力、仏教思想、輪廻の概念などを基にして、各自の「霊界」思想を形成しているのであるが、それらの霊能力者の主張する霊の話はあくまで、その人の使用する言語である。それをどのように読み取るか、自分がどのように受け止めるか、その言語を何かに役立たせるか、笑い去り批判するか、迷信の「とりこ」になるか、人は自分の考え次第であってよいと思う。

死後生存の証拠に関係づけられるかどうかと思われる事例は少なくない。

1) 交霊会での霊媒(Medium)の交信が学問的に研究され、交信がインチキもトリックもなく、本当に死者からの交信であるかどうかの確認を試みている。

交霊会での、特殊な交信として、出席者と

霊山信仰の恐山（おそれざん）

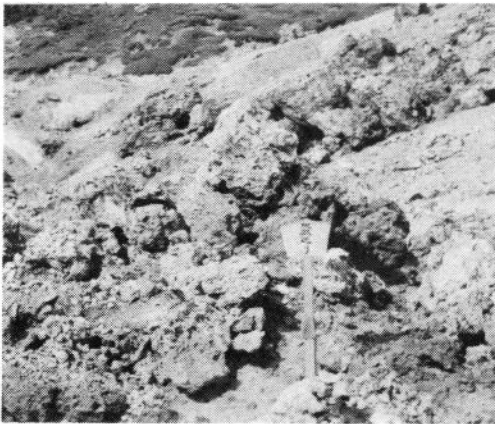
江戸時代1700年代からの霊山信仰の地。戦後になって昭和30年代からマスメディアに乗って下北半島の目玉の観光地となっている。



恐山では毎年7月20～24日の大祭と10月9～11日の秋祭りが開催される。信者や観光客で賑う。

「イタコの口よせ」

お祭には子供のころから厳しい修業を積んだ20人もの巫女イタコが憑依してトランス状態になって独特の節回しで死者の言葉を伝える。「イタコの口よせ」に目頭を押える信徒も見られる。



参拝者は、本尊の地藏堂にお参りして後、どこもかしこも温泉の硫黄で腐食した石ころの道を歩き、賽の河原や地獄谷、血の池地獄などの名がついた何々地獄というのを巡り、あちこちでお賽銭を投げながら歩き、幽玄な水面の宇曾利山湖のほとりに出る。



俗界との別れ目の朱塗りの太鼓橋が、三途の川にかかっている。これを渡ると前には総ヒバの山門がある。

中に入ると温泉の硫黄の臭いがプンプンする。

(平成3年3月NHKスペシャル 立花 隆ルポルタージュ臨死体験より)



レイモンド・ムーディー氏
『かいま見た死後の世界』の著者
「私の家庭は殆ど宗教に無縁だったのです。私は死ねば後には何も残らない無だと思っていました。救急医療を扱っていて、多くの患者が似たような体験をすることに気づきました。」



ルーカネン・キルデ医師 (フィンランド)
「私は手術中に自分が天井から自分の手術を見ていました。そしたら医者が誤って動脈を切ってしまう、血が天井まで噴き出すのを見ました。後で、カルテを見せて貰ったらその通り書いてありました。医者は私のことを幻覚だろうと云いました。」

宜保愛子とユリ・ゲラー (平成4年10月6日TBSTVより)



→宜保：(別室で絵を描く)
何を書いたと思いますか？
ユリ・ゲラー：私の顔をジツト見て下さい。
コンナ形だな ウーン
宜保：スゴイ！殆ど同じ絵よ これは！
ユリ・ゲラー：難しい形だこれ何なの？
宜保：私の座り机だものあなた知らない ムリね

(10本のフィルムの写真を当てる)←
宜保：これは感じるわ 写ってるのは子供じゃない？
宜保：これも感じるわね、赤の広場ね 寺院見たいね、これは
(フィルムを現像するとその通り)
群衆の中の子供と、もうひとつのは赤の広場の寺院の無名戦士の墓だった。



関係ない霊が霊媒に飛び込んできた話の例として、海の中にある自分の脚を捜しているとして繰り返す霊が、新しい一人が交霊会に参加してから以後、その霊は自分の身分や過去を語り出し、自分の足はその人の自宅にあると語ったのだが、新しい参加者は後で、何年も前に自宅に正体不明の脚の骨があったことを思い出したということである。

2) [霊姿] (Apparition) のひとつであるが、ノースカロライナ州の農夫ジェイムス・L・チャフィン(S. L. Chaffin)は、1905年11月16日に立会人のもとで遺言状を作成し、12年後の1921年に事故死し、遺言状により相続された。ところが、4年後の1925年6月、次男の夢の中に亡き父が登場し、自分が着ている黒いオーバーを裏返して見せ、「オーバーの内ポケットに遺書が入っている」と言った。数日後、そのオーバーを長男のところで発見し、内ポケットを調べてみたら、縫い合わされた部分に亡父の筆跡で「おじいちゃんの形見の聖書の創世記第27章を見よ」と書かれたものがあった。母親宅でその聖書を探し出し、立会人を前にして創世記第27章のところを開くと、1919年に書き直された遺書が入っていた。霊との関係があるのだろうか。

3) 死者の霊姿を見たという体験

ビルマで、妊娠中のある母親の夢の中に、上半身裸で半ズボン姿の日本兵が現れて、おまえのところに生まれるぞといったが、生まれたのは女の子であった。ところが、その女の子が、言葉を話せるようになって、「自分は、近くで戦死した日本兵だと言い始め、男の子として生活したいといったということである。

それが本当に死者の姿なのか。

4) 輪廻転生を思わせる事例

輪廻転生の例として、第三章(3-2)で述べた勝五郎の話が日本では有名である。

死後生存の研究で有名な、バージニア大学精神科教授イアン・スティブソン(I. Stevenson)は、前世は第二次大戦中ビルマで戦死した日本兵だったと主張するビルマ人の事例を16名集めた。

自分の前世は、第二次大戦中戦死した日本

兵で、戦闘機に鼠蹊部を撃たれて即死したという。姉の証言によると、2、3才ころまで鼠蹊部に傷があって開いていたという。

5) デジャー・ヴュー (Deja vu: 「既視感」) 現象

アメリカの、ある夫妻は、インドへの旅行で、最初に降り立ったボンベイで、夫はガイドブックも見していないのに、「その角を曲ると教会がある」とか、「この通りの先がド・ソール・ロードだよ」とか前に来たことがあるみたいに正確にいったので妻はビックリしたというのである。これは、前世の記憶の名残なのだろうか。

6) 過去に経験があったという既視感ではなく、知らない過去を思い浮かべる「過去視」ともいうべきサイ現象がある。TVでの映像で、宜保愛子とユリ・ゲラーが、旧ソ連で実験をし、モスクワのプールで、昔は何があったかを当てさせる。宜保愛子は大きな寺院みたい、地盤がゆるい、落ち込む感がすると云い、ユリ・ゲラーは宮殿みたい、これとスターリンと関係ないか?と云う。

事實は、ゆるい地盤に寺院が建っていて、スターリンによって爆破されたのだった。二人の靈感を合わせると、まったくピッタリである。

これ、霊界との交信なのであろうか。

7) 真性異言 (Xenoglossy)

突然に知らない外国語を話すことができるようになったという現象である。

スチーブソン(S. Stevenson)の調査であるが、1970年のこと、48才の女性が、睡眠中に、本人が知らない筈のドイツ語を話すようになったという。また、スウェーデン語を話すようになった例もある。また、52才のインド人女性で、母語のマラティー語が全く話せなくなり、知らない筈のベンガル語を話すようになった例を報告している。

8) 体外離脱 (Out of Body Experience)

臨死体験は、死後の体験ではない。今にも死にそうになって生き返った時の経験であり、生きた人間の経験であり、死後の世界を見て来たのではない。しかし、そういう体験が事実であることは認めなければならない。死後

の世界と何か関係があるかどうかが問題となる。

臨死体験でなく、自分が自分から離脱するのを、生きている人間に経験されることがある。ヒマラヤのような困難な登山で極限状態に瀕した時に、もう一人の自分が近くに連れ添っていたという話があるが、登山家の山田宏也氏は中国の山に登山し、仲間とはぐれて道に迷い、両手足の指を切断しなければならなかったほどの凍傷を負いつつも、もう一人の自分が傍らに連れ添っていて、それに励まされて下山し、3週間後に発見された。極限状態と云うのが臨死体験に似ているようである。

臨死体験は、臨終の迫った人間が死後の世界をかいま見るのであろうか。臨終時には、「あの世の使いとの出会い」があるのであろうか。

臨死体験が、靈魂の存在を暗示しているのか、単なる幻覚に過ぎないのか、これについては、それが夢や幻覚なのかどうかは別として、古今東西共通の事実があることだけは確かである。

8-5 超越論的な実在

霊媒の交信する靈魂にしても、サイ的現象の靈魂についても、その存在が靈魂であるとする確認が困難であり、死者の靈魂をどのようにして確認するかが常に議論的であり、靈魂の論議は、結局のところ、超越論的に考えなければならないことではないかと思う。

仏教渡来以前の日本では、死者の魂は他界にはゆかず、しばらく家の付近をさまようという考えで、死者のためにある期間を祈る風習があったが、輪廻から離脱するための涅槃を説いた仏教が、教派に分かれると、それぞれが独自の教理・教学を立てて、輪廻、浄土、極楽、地獄、靈魂の観念を説いた。源信が往生要集を書いたころの平安時代の王朝期の藤原氏の権勢を誇った時代は、貴族間の抗争、陰謀、謀殺などにより、憤死した人々の怨靈を恐れる思想が高まって、仏教は死靈鎮魂、厭離穢土、極楽浄土の信仰となり、次第に、盂蘭盆会、祖霊追善となった。鎌倉仏教以後

の禅は、もともと禅は人間個人の悟りへの信仰であったから、その教義は様々で自由であって、靈魂の不滅とか、あの世については特に論及していないが、仏教の祖霊追善の裏に靈の意識があるから、それが現代に見られる靈魂にまつわる宗教的現象や、宗教的社会問題ともなっている。

私は、現代社会で靈魂をどう考えるかについては、信仰は個人の人間性を中心に考えるべきであるから、宗教の教義が個人を縛りつけることは、人間の自由に制限を加えることとなるとするので、信仰や宗教的立場は、個人の精神的のものであるべきとするのである。

私は、人間の本来性を重視するにしても、マクロ的にものを考えると、靈魂の問題は超越論的となる。それで、私は、靈魂は超越論的な実在とすべきであるとする。また、人間の本来性から考えれば、精神的な存在であるとなる。

超越論的に考えれば、神の摂理は、靈魂を『実在』させているのだと思う。

私は、靈魂は、人間性に属する精神的なもの、信仰的なものであり、われわれの理性や悟性が、心の奥底に潜めている超越論的なものと思う。

靈魂は、理屈ぬきの人間性のなかの『精神的な存在』である。



生涯現役

回想録 その（二十二）

小泉新策

今月から風変りの記事になるが考古学体験に就て記すこととする。昭和廿七年の五月の或早朝一人の老人が尋ねて来た。手に一本の「五加」の苗木を持って居て、これは新築祝いですよ。貧乏人だから先生への新築祝いの印ですよ。この木の葉は便通によく効くよ。藤吉郎のお八重さんのうごき摘みの記事が新聞に書いてあったので食べられることは知って居るが、便通に有効なことを知って居るものは少ない。試して下さいと云って庭先きに植えて行ってくれた。この人が草花の塩野半十郎氏であった。試しに数葉を湯呑みに入れ熱湯を注いで数分、これを飲んだ所快便があることを知った。数日過ぎて又一人の同年輩老人を連れて来た。「東京むかしむかし」の執筆中医療以外のことで厄介かけますとの挨拶、東京音大の甲野勇ですとの初対面より考古学の話をはじめて石器土器の表面採集でもしたいので、色々頼みますとのことでした。私は初め乗り気ではなかったが、「話」のついでから「鳥の巣統」のことを口にしたので、そのことは五日市周辺四ヶ町村が合併するという気運の中で選任されて居た卅六名の委員が指導書の中に「鳥の巣統」という言葉があり、その意味が解釋されなかったのを、この単語を口にしたら即答された。五日市は古世層の接点だから到る処で石灰岩層と噛み合ったり分離したりして居る。小佛層を南に東に二三期層を接着してるから到る処に鳥の巣統を抱えこんで居るのですよ、と即答された。この人は学者だわいと、風采の上らぬ人がこの学説解明をなと、一驚した。もう一人は三年前から時々学生を連れて来て五日市周辺の河岸岩石の化石を調べて居りかつて、天王子橋工事の時と網代橋工事切り通し作業中象の化石が出たことの話をしてくれた早大の

直良信夫教授であった。以上の三人は会合は別々ではあったが期せずして考古学研修の学者達であったのである。考古学に興味を持つようになったのはこんな偶然の賜物であった。私は当時東京行きが多かったので、仲々機会が無かったが、四月（廿三年）の早朝塩野、甲野両氏と浦野演氏、大谷勉氏と四人、揃って来訪された。今日五日市駅上の小倉原を視察するから参加してくれとの誘いであった。当時まだ開発されず大部が畑地で表面採集には最適な処であった。私はここでこれ等の人達から考古学の一頁を現物を通して学ばされ始めたわけである。駅上の小倉原の畑には到る処に石簇が散乱して居た。集めれば容易に何百何千と手に入った。種類も二三種類あったが多くは黒曜石のハート型のもの、次にはチャート呼んで居た火打石で造ったもので、多くはハート型、中にはハートに短く柄の突き出たものであった。私は説明を求めた。何でこんなに澤山撒布してるのかねと、次々と教えてくれた。簇の向っている撒布の状況を観察させられた。簇はチャートが少く、多くはウ方向に向ってあった。黒曜石の簇は非常に多く△形に向い会った如くに散乱して居るものが比較的多くあった。この小倉は古代食糧倉庫のあった処で、ここを占領する為めに或る部族が攻撃をかけて来たのだったろう。簇には毒を塗ってあったろうし毒矢での戦闘は接近して行われた筈である。石簇に塗布した毒は「クラレ」、即ち鳥鎧毒ではなかったかと思われる簇は商品として物交易されて居たと思われる。黒曜石簇は天城山や信州諏訪湖北方の星糞産が主で瀬戸内彦島産これは色が灰白色で星糞産が関東では見受けることが多い。チャート（火打石）は地元の古成層より製作したもので毒矢か否かも始めは不明であった

が「鳥鑑」が野性して居るので可能であったと思われる。五日市駅上の小倉の丘に立って見渡せば丘陵が一带をなして入江となって居たし、簇もこの近く産のものでない星蕪のものとしても不思議ではない。畑地の段丘に露呈して居る土器も色彩型から見ても加曽利（千葉）や勝坂（神奈川）ものが見られる。貿易品として考えてもおかしくはないのであ

る。私はこの表面採集に味をしめ非常に興味が湧いたので、一生懸命この通の本に読み耽った。次に子供の頃から眼にして来て居る郷里檜原の採掘を試みようと考えついたのである。来月は遺跡発掘報告（中の平遺跡と小岩王子の原遺跡に就て）記述する予定です。中の平遺跡は東京都に於ける最高最古の遺跡と認定されて居る所。

地区だより

羽村地区

第1回羽村市健康フェア

さる10月10日（体育の日）に第1回羽村市健康フェアが、羽村市の富士見公園クラブハウスにて、市の体育祭に並行して羽村市三師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会）の主催で開催された。健康コンテストと称し血圧、脈、視力、聴力、肺活量、握力、のチェックや歯科検診を行った。この種のコンテストは毎年行っているが、昨年は市政施行記念として、NHKとの共催で「市民健康の集い」として開かれ、コンテスト参加者が200名近くあり成功であったが、今年は280名ほどの参加があり市民の予想以上の関心の高さを示している。こうした成功の陰には体育祭の昼のパレードで各種競技団体に混じり、白衣姿にピンクの健康フェアののぼりを各自1本ずつ持って堂々の行進を行った会員の努力も忘れてはいけない。（知合いの看護婦の「見たわよ。」の一言に今だに立直れないでいる先生もいるらしい。）

慰労会は同日行われ、市から市民部長、健康課長の出席があり、感謝の言葉を戴いた。

内容については、市医師会内に批判の声もあり、今後は事前に十分な討論も必要かと思うが、今回はとりあえず一応の成果があったと判断している。（込田 茂夫）



羽村市健康フェア風景

福生地区

一般市民向け『健康づくり講演会』報告

地域住民に対する健康増進活動の一環として、福生地区主催の一般市民を対象とした『健康づくり講演会』が、平成4年10月16日（金）午後6時30分より、福生市市民会館小ホールにて、講師にスポーツトレーニング理論の第一人者の東海大学教授、田中誠一先生をお招きし、「近代スポーツとトレーニング」

の演題で開催された。

講演会は西多摩医師会、福生市、福生市教育委員、福生市体育協会、東京福生ロータリークラブの後援を得ており、市民スポーツ愛好家、学生、スポーツ指導者、市健康行政担当者など約90名の出席にて盛会となった。

田中誠一先生は、東京オリンピック強化コーチ、全日本バレーボールチームトレーニングコーチ等を歴任、またF1の中島悟、ボクシング世界チャンピオンの井岡弘樹、読売ジャイアンツなど多くのスポーツ選手を指導、日本プロゴルフ協会学術委員でもあり、その目覚ましい成果で内外から、高い評価を得られるが、スポーツ界裏話をユーモアたっぷりに織り混ぜ、スポーツ選手の基礎は幼少期から野原を駆け回り抗重力筋を鍛えることにあること、一流競技者やプロ選手のトレーニング法と一般健康づくりのそれとは本質的に異なることを理解しスポーツ障害を避けること、過多トレーニングを避け適切な静的ストレッチング取り入れるべきことなどを話され約100分の熱の籠った講演となった。田中先生の一般向け著書として下記があり、是非御一読を。

ゴルフスーパーストレッチング 田中式ゴルフの奇跡 10歳若返るストレッチング 子供の運動能力を伸ばす本 等

(広報部 玉木)



福生地区「健康づくり講演会」

〈事務局よりお知らせ〉

来る11月27日(金)は「東京都地区医師会事務職員懇親会」出席のため、事務局は3時にて閉館いたします。

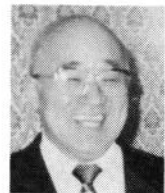


訃 報

福生市熊川77
松本 医院

松本 正規 先生

昭和2年2月21日生
享年65才



平成4年10月9日 午前7時10分「急性心不全」のため逝去されました。

告別式は10月11日午前10時より福生「西武葬祭斎場」に於て奥様のあき様が喪主となり執り行なわれました。

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

お 知 ら せ

12月（11月診療分）の
保険請求書類提出日
 12月7日（月）
 —— 正午迄です。 ——

法 律 相 談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を
 毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽に
 ご相談下さい。

- ◎ 相 談 日 11月は11日（水）
12月は9日（水）の予定です。
- ◎ 場 所 西多摩医師会館和室
- ◎ 内 容 医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、
刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎ 相 談 料 無 料（但し相談を超える場合は別途）
- ◎ 申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
 （注）先生の都合で相談日を変更することもあります。

表紙のことば

『ススキ』

逆光に波打つように映えるススキの白い穂
 を見ると秋を身近に感ずる季節になります。

中秋の名月に月見団子と共に飾られるスス
 キは秋の七草の一つであって、その名の由来
 もすすくすと立つ木と云う意味と、また古代
 の神楽でササやアシ、ススキなどサヤサヤと
 鳴らした“スズ（清浄）ケ”の意味から来た
 と云われています。

山田正哉

あ と が き

これからも多くの人々の考えをご紹介しな
 がら、医師会報が同好会的なものではなく、
 より「ひらかれた」かたちで、地域医療の推
 進のお役に立っていけばと思います。

片平潤一

社団法人 西多摩医師会

平成4年11月1日発行

会長 松原貞一 〒198 東京都青梅市西分3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 明田川修生

天野了一 石井好明 片平潤一 小机敏昭 込田茂夫
 瀬戸岡俊一郎 高水松夫 玉木一弘 道又正達 山川淳二
 印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993

自然のめくみを最先端の技術で活かす——ツムラ漢方製剤エキス顆粒(医療用)128品目+3品目



ツムラは、ツムラ漢方製剤エキス顆粒(医療用)128品目+3品目により、高齢化社会の深まりつつある現実の治療に貢献しつつ、漢方製剤の科学的な実証を通じて、21世紀に至る長寿社会の治療手段としての役割をはたしていきたいと願っております。

 株式会社ツムラ
東京都千代田区二番町12-7 千102

最新のテクノロジーが計測します
そして、人の眼と心が記録します



臨床検査のパイオニア
保健科学研究所

本社 千240 横浜市保土ヶ谷区神戸町106 TEL/045-333-1661(大代表)
仙台支社 千983 仙台市宮城野区願町1-3-5 TEL/022-236-9345(大代表)